

第16回 プロジェクトマネジメントセミナー 開催報告 20170111

東京都市大学 緑土会・工学部都市工学科 主催
第16回 プロジェクトマネジメントセミナー
—インフラメンテナンスに関する最新動向—

土木学会認定 CPD 講座
(認定番号 JSCE16-0508)



我が国は成熟期に入り、膨大な社会基盤の維持管理・更新の時代を迎えております。国土交通省では、インフラメンテナンス国民会議を設置して、まさに国民的なムーブメントにする動きが活発になっています。そこでは、インフラメンテナンスのビジネス化や社会や国民を巻き込んだいわゆる市民参画が主要な話題になっています。

そこで、今回のセミナーでは、軽井沢の観光道路の管理運営権を購入して、民間による運営の先駆けとなっている「白糸ハイランドウェイ」の運営担当である鈴木泉氏と、大学教員としのご経歴もあり、公会計にお詳しい和久昭正氏をお迎えして開催しました。

講師

NPO シビルサポートネットワーク理事

和久昭正氏

「メンテナンスにおける意思決定法や着手優先順位決定について」

(株)ガイアート TK 経営企画部道路維持戦略室室長

鈴木 泉氏

「民活による有料道路事業とアセットマネジメントシステム(ISO55001)認証」

日時：2017年1月11日(水) 14:00-17:00

場所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス

東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル B1階

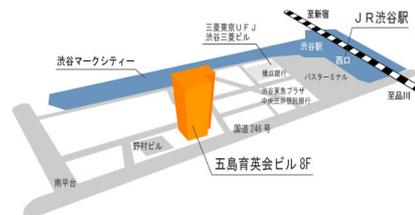
参加費：2,000円を当日徴収しました。学生は無料としています。

意見交換会：セミナー終了後、意見交換会を行いました。

意見交換会の会費は実費。(17:30-19:00)

参考、今後の申込：メールにて、セミナー・意見交換会の参加が分かるようご連絡ください。

ご連絡先：東京都市大学工学部都市工学科教授・皆川勝
メール minamasa@tcu.ac.jp および hsaitoh@tcu.ac.jp



参加者名簿 他

東京都市大学 緑土会・工学部都市工学科 主催
第16回 プロジェクトマネジメントセミナー



—インフラメンテナンスに関する最新動向—

講 師

NPO シビルサポートネットワーク理事
(株)ガイアートTK 経営企画部道路維持戦略室室長

和久昭正氏

鈴木 泉氏

日 時：2017 年 1 月 11 日 (水) 14:00-17:00

場 所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス

東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル B1 階

お問い合わせ先：東京都市大学工学部都市工学科 皆川勝 (minamasa@tcu.ac.jp)

本セミナーは CPD プログラムとして土木学会に認定されています (認定番号 JSCE16-0508)

参加者名簿 (敬称は省略させていただきました。)

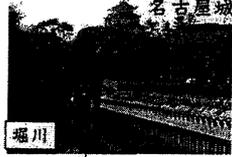
卒業年	お名前	ご勤務先
S35 土	山田 秋夫	(株) 中央都市開発コンサルタンツ
S41 土	船越 靖彦	トップライズ
S41 土	川邊 富明	日本水工コンサルタント
S42 土	草柳 俊二	東京都市大学客員教授
S43 土	松田 洋紀	建設マネジメントセンター, 本学社会人修士
S44 土	青木 良雅	元大成建設
S48 土	丸山 信	福田道路
S54 土	皆川 勝	東京都市大学
S55 土	小原 丈二	小田急エンジニアリング, 本学社会人修士
S55 土	勝俣 陸男	日本開発政策研究所
S56 土	木南 敦	鹿島建設
一般	志太 峰之さま	東洋電機工業

講義原稿（一部）

「メンテナンスにおける意思決定法や着手優先順位決定について」

2017.01.11
東京都市大学 講義資料

VEによる
都市河川の資産価値向上に関する検討
(名古屋市堀川再生プロジェクトを事例として)



堀川

CNCP研究会(自治体インフラメンテナンス研究会)
シビルサポートネットワーク理事
元名古屋工業大学 和久昭正

1

講義の概要

- 1)ある問題に対し、課題の抽出方法及びその課題の優先順位の決定法について講義する。
- 2)題材として、名古屋市のシンボル「堀川」を取り上げる。
- 3)この事例では、堀川の「価値向上対策」を検討した。
- 4)「価値向上対策」の具体策の一つとして「堀川の水質をよくする」があり、その取組課題を抽出した。
- 5)検討は、市民・行政・産業界・大学を巻き込んだ市民参加型として進めた。
- 6)検討の手法は、VE (Value Engineering: 価値工学) を用いた。

具体的にはワークショップを行ない検討を進めた。

そのそもVEとは何か

・日本VE協会の定義

VEとは

①最低のライフサイクルコストで、必要な機能を実実に達成するために、

②製品やサービスの機能的研究に注ぐ組織的努力である。

↓

VEは機能とコストの関係から価値を追求する。

3

VEの基本的ステップ

- (1)大目標を設定する(参加者全員が共通の認識を持つ)
- (2)ブレインストーミング(ワークショップ)等。
(産業界、行政関係者、大学等専門家、一般市民からの意見を聴取する)
- (3)出された意見をもとに機能系統図を作成する。
- (4)機能系統図から取組課題を抽出する
- (5)取組課題の重要度(優先順位)を決定する
- (6)取組課題の解決策を検討する **今回はここで**

解決策は、価値(v)=機能(F)÷コスト(c)に基づき、価値(V)を高めることを目的に検討する。

4

そこで堀川



月川延長 162km
掘川区間 約13.6km

庄内川からの導水



6

堀川の最上流

庄内川 ⇒ 堀川

名古屋市街地を臨む



上流 ⇒ 下流

延長:約16.2km
1級河川(国が管理)

7

堀川中流付近

散策路付近の水鳥



御用水跡街園散策路

名古屋城のお堀の水源として開削された「御用水」

8

講義状況

NPO シビルサポートネットワーク理事 和久昭正氏



講義原稿（一部）

「民活による有料道路事業とアセットマネジメントシステム（ISO55001）認証」

平成29年1月11日東京都市大学緑土会セミナー

民間有料道路「白糸ハイランドウェイ」の
運営事業とアセットマネジメントシステム
「ISO55001」導入とその効果

(株)ガイアート 本社
道路維持戦略室
鈴木 泉

Agenda

1. 民間提案による一般有料道路の価値向上への挑戦
 - 1) 日常的な維持管理の基盤作りと事業運営の改善
 - 2) 増収施策と地域協働作業
 - 3) 定期点検・診断の仕組みと補修履歴からの計画的修繕（資産管理として計画を立てること）
2. ISO55001（アセットマネジメントシステム）の導入とその効果
 - 1) 最新の動向とシステム概要とポイント
 - 2) 白糸ハイランドウェイ認証モデル
 - 3) 導入効果と今後の課題
 - 4) インフラメンテナンス国民会議の設立

講義状況

(株)ガイアート TK 経営企画部道路維持戦略室室長 鈴木 泉氏



講義後の懇親会風景

